

# 音楽科

使用教材:教科書、ミュージックノート(音楽のきまり、リズムドリルを含む) 合唱曲集 (ニューコーラスフレンズ)

## 【学習の目標と学習方法】

- ・音楽の表現を工夫し、どのように表すかを工夫する力を養う。
- ・音楽を表現するための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表す力を養う。
- ・音楽を形づくっている要素を理解し、よさや美しさを味わって聴く力を養う。

<b>授業について</b> *授業は教科書、ミュージックノート、合唱曲集を使用して進めていきます。 *音楽の技能については個別に指導していきますので、経験がある、ないは関係ないので安心してください。 *年に数回実技テストがあります。  <b>生徒の皆さんに</b> *忘れ物があると、授業に参加しづらい内容もあるので、忘れ物がないようにしましょう。 *苦手なものを敬遠してしまうのではなく、「まずやってみよう」という積極的な気持ちで授業に臨んでください。	<b>〈家庭学習について〉</b> *普段の生活の中で、好きなジャンルにこだわらず、いろいろなジャンルの音楽聴くようにしましょう。聴いたことのある曲を授業で学習することで、音楽的教養が広がっていきます。  <b>〈試験前はこうに取り組もう〉</b> *教科書の内容、ワークシート(プリント)を中心に出题します。範囲が狭いので、何度も繰り返し復習し、内容をしっかりと理解してください。また、楽譜は毎回出题しますので、日頃から楽譜を積極的に活用し、慣れておきましょう。 *実技テストも事前にお伝えしますので、楽譜を見直すなど、準備をしておいてください。	関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
		評価観点 音楽に親しみ、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。
		評価資料 ・授業観察(発言内容・取り組み状況・発表の様子など) ・提出物 ・定期考査	・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	実技テスト	・ミュージックノート ・ワークシート ・定期考査

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	ガイダンス ボイスチェック 鑑賞「魔王」・ 「春」	合唱 指揮法 合唱コンクール曲決め 期末考査	3	合唱(合唱コンクール曲) 音楽記号の書き方	12	音楽記号の書き方 鑑賞「ブルタバ」 期末考査 リズム	9	器楽(箏)の基礎「荒城の月」 鑑賞「六段の調べ」 学年末考査 式歌	10	計45h		
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	ボイスチェック リズムドリル 鑑賞「小フーガト短調 (7h)	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	10
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	ボイスチェック リズムドリル 鑑賞「ボレロ」	7	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3